

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-252696

(43)公開日 平成9年(1997)9月30日

(51)Int.Cl.⁶

A 0 1 K 97/10

識別記号

庁内整理番号

F I

A 0 1 K 97/10

技術表示箇所

Z

審査請求 有 請求項の数2 OL (全7頁)

(21)出願番号 特願平8-64073

(22)出願日 平成8年(1996)3月21日

(71)出願人 592151339

弓削 巖

大阪府守口市神木町3の3

(72)発明者 弓削 巖

大阪府守口市神木町3の3

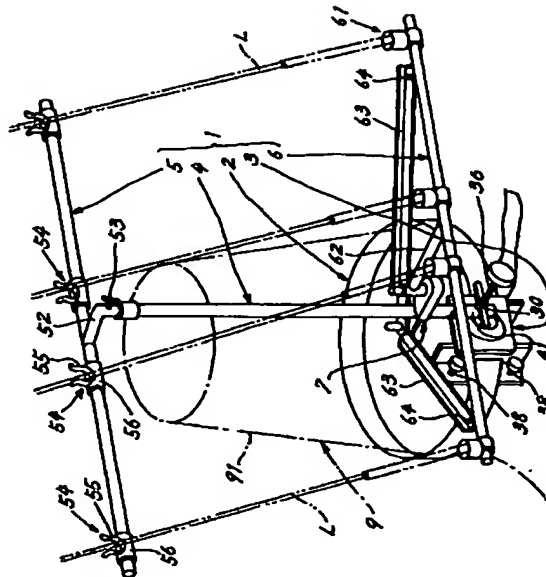
(74)代理人 弁理士 丸山 敏之 (外2名)

(54)【発明の名称】 釣竿受け具

(57)【要約】 (修正有)

【課題】 テトラポット上に複数本の釣竿を高さを揃えて安定して支持する。

【解決手段】 テトラポット脚部の一周して締め上げるベルト2と、該ベルトが通り相手取付け部材に取付けられるベース3と、該ベースに貫通して螺合した締め付け主ネジ軸36に基端が回転可能に嵌まった柱杆4と、該柱杆4の先端部に取り付けられ柱杆と直交する方向に延びた第1支え杆5と、柱杆の下部に取付けられ柱杆と直交する方向に延び前記第1支え杆5と略平行な第2支え杆6とによって構成され、前記ベース3には先端を相手取付け部材に当ててベース3の傾き調節を行なう複数の調整ネジ軸38が螺合されており、前記主ネジ軸36には柱杆4の基端をベース3上に締め付け固定するためのクランプネジ30が螺合され、前記ベルト2はベース3の少なくとも2箇所を貫通し、主ネジ軸36の先端がベルト2を押え、主ネジ軸36の締め付けによりベルト2にテンションを付与できる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 テトラポット脚部(91)等の相手取付け部材を一周して締め上げるベルト(2)と、該ベルト(2)が通り相手取付け部材に取付けられるベース(3)と、該ベース(3)に貫通して螺合した締付け主ネジ軸(36)に基端が回転可能に嵌まった柱杆(4)と、該柱杆(4)の先端部に取り付けられ柱杆(4)と直交する方向に延びた第1支え杆(5)と、柱杆(4)の下部に取付けられ柱杆(4)と直交する方向に延び前記第1支え杆(5)と略平行な第2支え杆(6)とによって構成され、第1支え杆(5)には釣竿Lが嵌まり該竿の横移動を阻止する複数の第1受け部(54)が設けられ、第2支え杆(6)には、釣竿Lの基端が嵌まり該竿の横移動を阻止する複数の第2受け部(61)が設けられ、前記ベース(3)には先端を相手取付け部材に当ててベース(3)の傾き調整を行なう複数の調整ネジ軸(38)が螺合されており、前記主ネジ軸(36)には柱杆(4)の基端をベース(3)上に締め付け固定するためのクランプネジ(30)が螺合され、前記ベルト(2)はベース(3)の少なくとも2箇所を貫通し、主ネジ軸(36)の先端がベルト(2)を押え、主ネジ軸(36)の締め付けによりベルト(2)にテンションを付与できる竿受け具。

【請求項2】 第1支え杆(5)及び第2支え杆(6)は、柱杆(4)に対して着脱可能である請求項1に記載の釣竿受け具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する分野】本発明は、テトラポット上に複数の釣竿を並べて支持できる釣竿受け具に関するものである。

【0002】

【従来の技術及び発明が解決しようとする課題】テトラポット上等の凹凸の激しい場所で、釣竿を並べて支持するためには、従来は、図7に示す三脚式の竿受け具が使用されている。この三脚式の竿受け具は、脚の長さ調整可能な三脚(100)の先端に横向きに受け杆(101)を具えている。受け杆(101)は、金属線を屈曲して竿の嵌まる凹部(102)を形成している。テトラポット上に、三脚(100)を立て、釣竿を受け杆(101)の凹部(102)に嵌めて受け杆(101)に凭れかけさせるのである。

【0003】上記竿受け具の場合、向きの決まっていないテトラポット上に三脚(101)を立てること自体難しく、立てても常に滑り落ちる虞れがある。又、竿の下端位置の高さを揃えることができず、魚の当たりがあっても咄嗟に竿を手を持つことができず、逃してしまうことが多い。更に、竿を斜めに立て掛けて支持するだけであり、釣竿を略水平状態に支持することはできなかった。本発明は、上記問題を解決できる釣竿受け具を明らかにするものである。

【0004】

【課題を解決する手段】本発明の釣竿受け具は、テトラ

ポット脚部(91)等の相手取付け部材を一周して締め上げるベルト(2)と、該ベルト(2)が通り相手取付け部材に取付けられるベース(3)と、該ベース(3)に貫通して螺合した締付け主ネジ軸(36)に基端が回転可能に嵌まった柱杆(4)と、該柱杆(4)の先端部に取り付けられ柱杆(4)と直交する方向に延びた第1支え杆(5)と、柱杆(4)の下部に取付けられ柱杆(4)と直交する方向に延び前記第1支え杆(5)と略平行な第2支え杆(6)とによって構成され、第1支え杆(5)には釣竿Lが嵌まり該竿の横移動を阻止する複数の第1受け部(54)が設けられ、第2支え杆(6)には、釣竿Lの基端が嵌まり該竿の横移動を阻止する複数の第2受け部(61)が設けられ、前記ベース(3)には先端を相手取付け部材に当ててベース(3)の傾き調整を行なう複数の調整ネジ軸(38)が螺合されており、前記主ネジ軸(36)には柱杆(4)の基端をベース(3)上に締め付け固定するためのクランプネジ(30)が螺合され、前記ベルト(2)はベース(3)の少なくとも2箇所を貫通し、主ネジ軸(36)の先端がベルト(2)を押え、主ネジ軸(36)の締め付けによりベルト(2)にテンションを付与できる。

【0005】

【作用及び効果】釣竿の支持場所が決まれば、その位置のテトラポット(9)の脚部(91)を一周してベルト(2)を巻く。この時、ベルト(2)には予めベース(3)を取付けておく。ベルト(2)を締め上げて、ベース(3)をテトラポット(9)上に仮固定する。主ネジ軸(36)を締め付けてベルト(2)を緊張させ、ベース(3)をテトラポット脚部(91)に強固に固定する。

【0006】ベース(3)上の柱杆(4)を真上方向に起こして、クランプネジ(30)を締め付ける。この時の柱杆(4)の起立状態を見ながら、ベース(3)上の調整ネジ軸(38)を締め付けて、柱杆(4)が鉛直方向を向く様にベース(3)の傾きを調整する。柱杆(4)の先端に第1支え杆(5)、下部に第2支え杆(6)を取付ける。第2支え杆(6)上の第2受け部(61)に釣竿Lの基端を嵌め、該竿の軸部を第1支え杆(5)上の第1受け部(54)に嵌めて竿を第1支え杆(5)に凭れ掛けて支持せしめる。

【0007】テトラポット脚部(91)に巻き付けたベルト(2)によってベース(3)を支持し、且つ柱杆(4)はベース(3)上に回転可能且つクランプネジ(30)によって位置決め可能に固定され、然もベース(3)は、テトラポット脚部(91)に対して傾き調整可能であるから、テトラポット(9)の脚部(91)がどの方向を向いていても柱杆(4)を鉛直に支持することが可能となる。

【0008】又、ベース(3)の主ネジ軸(36)の締め付けによって、ベルト(2)を緊張させてベース(3)を強固にテトラポット脚部(91)に取付けでき、従来の三脚式竿受け具の様に、テトラポット上から、竿受け具が滑り落ちる虞れはない。更に、第1支え杆(5)と略平行な第2支え杆(6)上の第2受け部(61)に竿の基端を嵌めて、複数

の竿の下端の高さを揃えて支持できるため、咄嗟の竿扱いにも素速く対応できる。柱杆(4)に対して、第1支え杆(5)及び第2支え杆(6)を着脱可能とすれば、携帯に便利である。

【0009】

【発明の実施の態様】図1は、本発明の釣竿受け具をテトラポット(9)の脚部(91)に取付けた状態を示している。釣竿受け具(1)は、テトラポット脚部(91)を一周して締め上げるベルト(2)と、該ベルト(2)が通り該脚部(91)に取付けられるベース(3)と、該ベース(3)に貫通して螺合した締付け主ネジ軸(36)に基端が回転可能に嵌まった柱杆(4)と、該柱杆(4)の先端部に取り付けられ柱杆(4)と直交する方向に延びた第1支え杆(5)と、柱杆(4)にスライド且つ位置決め可能に取付けられ柱杆(4)と直交する方向に延び前記第1支え杆(5)と略平行な第2支え杆(6)とによって構成される。

【0010】図2の如く、ベルト(2)は、一端に止め金具(21)を具えており、該止め金具(21)にベルトの他端を通して、止め金具(21)上のロック片(22)によってベルトの抜け止めが画られる公知のものである。ベルト(2)は、テトラポット脚部(91)の根元の大径部を1周して十分に余る長さである。

【0011】ベース(3)は、図2、図3、図4の如く、略正方形の平板(31)の両端に同じ方向に直角に曲った第1曲片(32)、該第1曲片(32)から更に外側に直角に曲った第2曲片(33)を有している。平板(31)の外面には中央が膨らんだ円形の位置決め板(34)が溶接等によって固定され、外周部には等間隔に凹み(35)が形成されている。位置決め板(34)の中央及び平板(31)を貫通して主ネジ軸(36)が螺合される。主ネジ軸(36)の外端側にクランプネジ(30)が螺合され、内端には押し板(37)が回転自由に取付けられている。

【0012】ベース(3)の両第1曲片(32)には前記ベルト(2)を通すスリット孔(32a)が開設され、ベルト(2)はクランプネジ(30)の押し板(37)の外側を通して両第1曲片(32)のスリット孔(32a)の内側から外側に引き出されている。ベース(3)の第2曲片(33)の両端に、調整ネジ軸(38)が前記主ネジ軸(36)と平行に貫通螺合され、内端に円錐状の当り片(39)が球関節継手(図示せず)を介して取付けられている。

【0013】図1、図2、図3、図5の如く、柱杆(4)は中空パイプによって形成され、上端に小径軸部(42)、下端に扁平部(41)を有し、該扁平部(41)を前記ベース(3)上の主ネジ軸(36)に余裕のある状態に嵌めている。実施例の柱杆(4)の全長は約80cmである。柱杆(4)の扁平部(41)には、ベース(3)上の位置決め板(34)外周の凹み(35)に係合可能に位置決め突起(43)を有している。

【0014】第1支え杆(5)は、合成樹脂パイプにて形成され、全長約120cmである。第1支え杆(5)は中央部に、先端が短く下向き屈曲したL型パイプ状の接ぎ杆

(52)を突設し、接ぎ杆(52)先端にクランプネジ(53)を具えている。接ぎ杆(52)の下向き先端を前記柱杆(4)上端の小径軸部(42)に嵌め、クランプネジ(53)を締付けて、第1支え杆(5)を柱杆(4)と直交して該柱杆(4)に取付けることができる。

【0015】第1支え杆(5)上には、釣竿の中間軸部を支える第1受け部(54)が複数個、実施例では4個の第1受け部(54)が配備されている。第1受け部(54)は全体が合成樹脂にて形成され、竿の嵌まる受け片(55)に第1支え杆(5)に取付けるための脚片(56)を突設している。受け片(55)は、上向き開口部が狭まった略U字状を呈している。脚片(56)は、第1支え杆(5)よりも1サイズ大径のパイプ片を約1/3円弧切除して形成されており、樹脂の弾性変形を利用して図5の矢印Aで示す様に、第1支え杆(5)の軸心に直交する方向から無理やり押し込んで取付けでき、又、逆方向に引き抜いて取り外しできる。第1支え杆(5)の軸心に沿ってスライドさせることができるのは勿論である。

【0016】第2支え杆(6)は、柱杆(4)にスライド可能に取付けた取付け金具(7)を介して柱杆(4)に着脱可能に取付けられる。取付け金具(7)は、2つの挟み片(70)(71)によって柱杆(4)を挟み、柱杆(4)を挟んで平行に配備した締付けボルト(72)(72)によって両挟み片(70)(71)を連結している。締付けボルト(72)を緩めると、柱杆(4)上を取付け金具(7)をスライドさせることができ、締付けボルト(72)を締め付けると、柱杆(4)に取付け金具(7)を固定できる。第1支え杆(5)の接ぎ杆(52)の向きとは反対方向の挟み片(70)に受け孔(73)が開設され、他方の挟み片(71)に上向きに受け軸(74)が突設されている。

【0017】第2支え杆(6)は、前記第1支え杆(5)と同じく合成樹脂パイプにて形成され、全長約120cmである。第2支え杆(6)は中央部に、第2支え杆(6)と直交して接ぎ杆(62)を突設し、該接ぎ杆(62)の先端に該接ぎ杆(62)及び第2支え杆(6)に直交して2つの軸片(66)(67)を反対方向に突設している。第2支え杆(6)の両端側に接ぎ補助杆(63)(63)の基端が枢支されている。接ぎ補助杆(63)は、第2支え杆(6)と接ぎ杆(62)を含む面内で回転可能であり、自由端に前記取付け金具(7)の受け軸(74)に嵌まる嵌込み孔(65)を開設している。

【0018】第2支え杆(6)には、釣竿の基端を支持する第2受け部(61)が前記第1支え杆(5)の第1受け部(54)と同数だけ配備されている。第2受け部(61)は全体が合成樹脂にて形成され、竿の基端が嵌まるカップ(68)の下面に、第2支え杆(6)に取付けるための脚片(69)を突設している。カップ(68)は上面開口の円形容器である。脚片(69)は、前記第1受け部(54)の脚片(56)と同様の構造であり、樹脂の弾性変形を利用して、第2支え杆(6)の軸心に直交する方向から無理やり押し込んで取付けでき、又逆方向に引き抜いて取り外しできる。第2支え

5

杆(6)の軸心に沿ってスライドさせることができるのは勿論である。

【0019】然して、釣竿の支持場所が決まれば、その位置のテトラポット(9)の脚部(91)を一周してベルト(2)を巻く。この時、ベルト(2)には予めベース(3)を取付けておく。ベルト(2)を締め上げて、ベース(3)をテトラポット(9)上に仮固定する。主ネジ軸(36)を締め付けてベルト(2)を緊張させ、ベース(3)をテトラポット脚部(91)に強固に固定する。

【0020】ベース(3)上の柱杆(4)を真上方向に起こして、クランプネジ(30)を締め付ける。この時の柱杆(4)の起立状態を見ながら、ベース(3)上の調整ネジ軸(38)を締め付けて、柱杆(4)が鉛直方向を向く様にベース(3)の傾きを調整する。柱杆(4)の上端に第1支え杆(5)、下部に第2支え杆(6)を取付ける。第2支え杆(6)の取付けは、柱杆(4)上の取付け金具(7)を柱杆(4)の下部に固定し、該取付け金具(7)の受け孔(73)に、第2支え杆(6)の接ぎ杆(62)先端の下向き軸片(66)を嵌める。第2支え杆(6)の2本の接ぎ補助杆(63)(63)の先端の嵌込み孔(65)を取付け金具(7)上の受け軸(74)に嵌める。

【0021】第2支え杆(6)の第2受け部(61)のカップ(68)に釣竿Lの基端を嵌め、該竿の軸部を第1支え杆(5)上の第1受け部(54)の受け片(55)に嵌めて竿を第1支え杆(5)に凭れ掛けて支持せしめる。テトラポット脚部(91)に巻き付けたベルト(2)によってベース(3)を支持し、且つ柱杆(4)はベース(3)上に回転可能且つクランプネジ(30)によって位置決め可能に固定され、然もベース(3)は、テトラポット脚部(91)に対して傾き調整可能であるから、テトラポット(9)の脚部(91)がどの方向を向いていても柱杆(4)を鉛直に支持することが可能となる。

【0022】又、ベース(3)の主ネジ軸(36)の締め付けによって、ベルト(2)を緊張させてベース(3)を強固にテトラポット脚部(91)に取付けでき、従来の三脚式竿受け具の様に、テトラポット上から、竿受け具が滑り落ちる虞れはない。更に、第1支え杆(5)と略平行な第2支え杆(6)の第2受け部(61)に竿の基端を嵌めて、複数の竿の下端の高さを揃えて支持できるため、咄嗟の竿扱いにも素速く対応できる。

【0023】第1支え杆(5)及び第2支え杆(6)上にて

6

夫々第1受け部(54)と第2受け部(61)の間隔調整を行なうことによって、釣竿Lの間隔調整ができる。図6の如く、取付け金具(7)を柱杆(4)の上端側に固定し、第1支え杆(5)と第2支え杆(6)の高さの差を小さくし、第1支え杆(5)と第2支え杆(6)に跨がって、竿を水平に近い状態で支持でき、この場合、魚の引きによって竿が引っ張られても、竿に取付けたリール(図示せず)が、第1受け部(54)に当たって抜け止めとなり、竿が支え杆(5)(6)から滑り抜けることはない。

【0024】実施例の様に、柱杆(4)に対して、第1支え杆(5)及び第2支え杆(6)を着脱可能とすれば、携帯に便利である。尚、図6に示す載せ台(8)を必要に応じて第2支え杆(6)の接ぎ杆(62)先端の上向き軸片(67)に着脱可能に取付けできる。載せ台(8)、支持杆(81)上に載せ板(83)を固定し、杆の先端に軸片(67)に嵌合する取付け部(82)を有している。載せ板(83)には蝶番(85)を介して折り畳み可能に補助板(84)が取付けられている。載せ台(8)の取付け部(82)を軸片(67)に嵌め、補助板(84)を開けばよい。載せ台(8)には、餌箱等の小物を載せることができ便利である。

【0025】本発明の釣竿受け具は、テトラポットに限らず、ベルトの締め付けが可能であれば、相手取付け部材を選ばないのは勿論である。本発明は上記実施例の構成に限定されることなく、特許請求の範囲で種々の変形が可能である。

【図面の簡単な説明】

【図1】使用状態の斜面図である。

【図2】ベース近傍の斜面図である。

【図3】同上の縦断面図である。

【図4】同上の横断面図である。

【図5】分解状態の斜面図である。

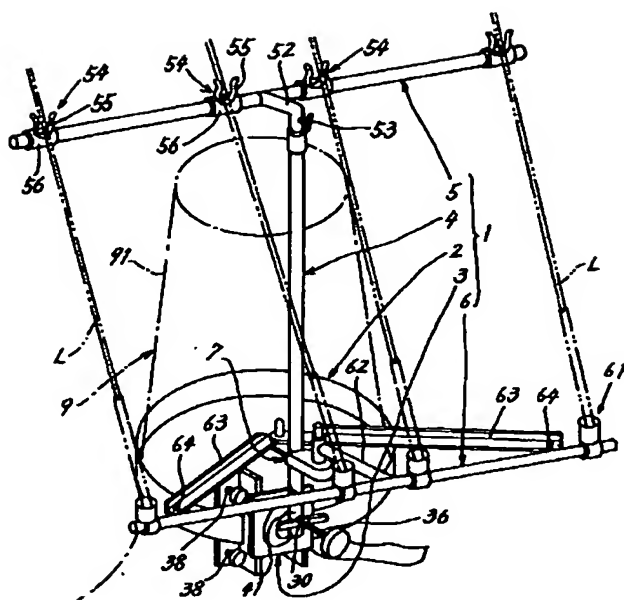
【図6】竿を略水平状態に支持した状態の斜面図である。

【図7】従来例の斜面図である。

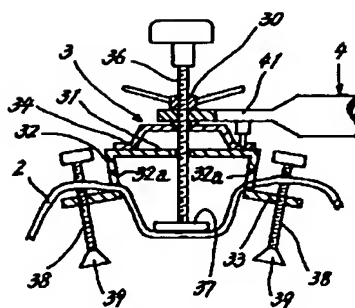
【符号の説明】

- (2) ベルト
- (3) ベース
- (4) 柱杆
- (5) 第1支え杆
- (6) 第2支え杆
- (7) 取付け金具

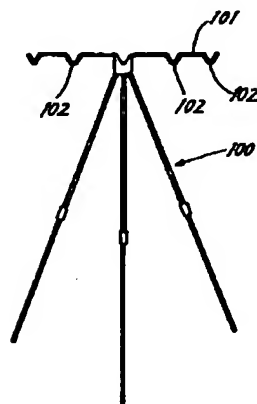
【図1】



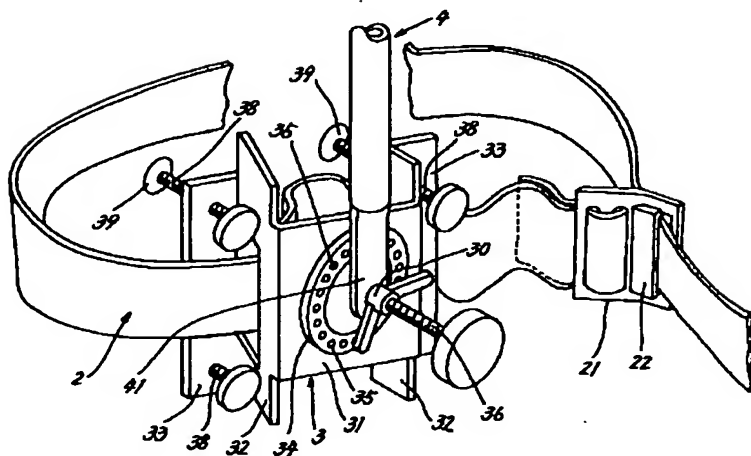
【図4】



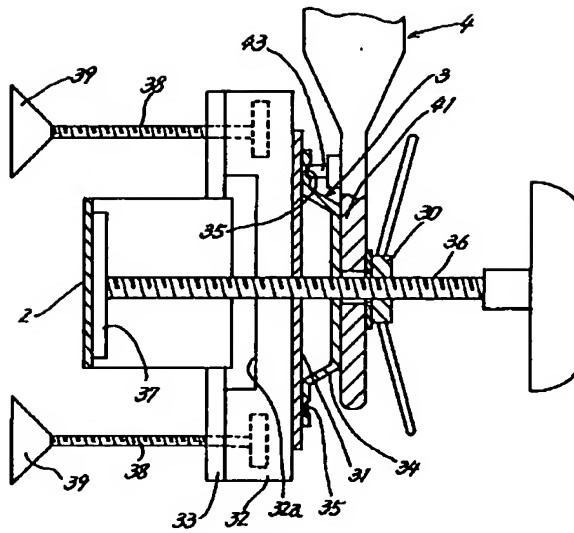
【図7】



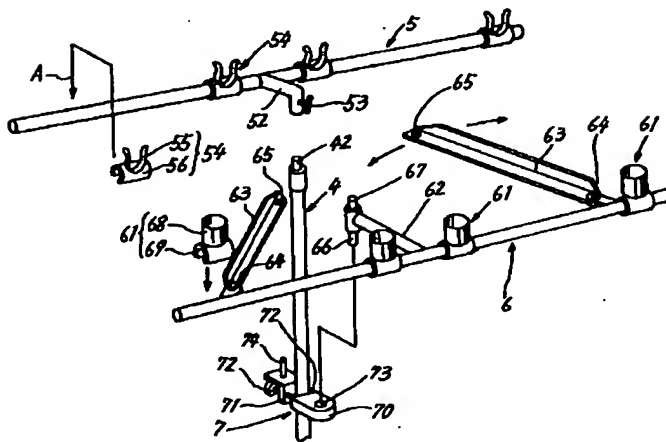
【図2】



【図3】



【図5】



PAT-NO: JP409252696A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 09252696 A
TITLE: FISHING ROD RECEIVER
PUBN-DATE: September 30, 1997

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
YUGE, IWA0

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME COUNTRY
YUGE IWA0 N/A

APPL-NO: JP08064073
APPL-DATE: March 21, 1996

INT-CL (IPC): A01K097/10

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To stably support several fishing rods on a tetrapod by truing up their height.

SOLUTION: This fishing rod receiver is composed of a belt 2 fastened by making a round of the leg part of the tetrapod, a base 3 through which the belt 2 passes and which is fixed to an opposite side fixing member, a pole rod 4 the base tip of which is rotatably fitted to a fastening main screw axis 36 by penetrating through to the base 3, a first supporting rod 5 fixed to the tip part of the pole rod 4 and extended in a direction orthogonal with the pole rod 4, and a second supporting rod 6 nearly in parallel with the first supporting rod 5, which is fixed to the lower part of the pole rod 4 and extended in the

direction orthogonal with the pole rod 4. To the base 3, plural
adjusting
screw axes 38 adjusting the inclination of the base 3 by fitting
their tips to
the opposite fixing member are screwed. A clamp screw 30 for fasten-
fixing the
base tip of the pole rod 4 onto the base 3 is screwed to the main
screw axis
36, the belt 2 is passed through at least two places of the base 3,
the tip of
the main screw axis 36 presses the belt 2, and the belt 2 is given
tension by
the fastening of the main screw axis 36.

COPYRIGHT: (C)1997,JPO

DERWENT-ACC-NO: 1997-530081

DERWENT-WEEK: 199749

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Tetrapod tool for holding fishing rod - has
base with adjustment screws and main screws for straining
belt which is wrapped around tetrapod leg

PATENT-ASSIGNEE: YUMISAKU I[YUMII]

PRIORITY-DATA: 1996JP-0064073 (March 21, 1996)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE
PAGES MAIN-IPC		
JP 09252696 A	September 30, 1997	N/A
007 A01K 097/10		

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP 09252696A	N/A	1996JP-0064073
March 21, 1996		

INT-CL (IPC): A01K097/10

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 09252696A

BASIC-ABSTRACT:

The tool has a belt (2) which is wrapped around a tetrapod leg (91) and fastened. The belt is passed through at least two places in a base (3) equipped with a main screw (36) which tensions the belt, when turned. The main screw passes through the bottom end of a vertical support (4), and has a clamping screw (30) for clamping the vertical support to the base. A true vertical position of the vertical support is obtained by four adjusting screws (38) in the base. A first support (5) extending in orthogonal direction is

fitted on top of vertical support.

A second support (6) extending in orthogonal direction and parallel to the first support, is fixed in the lower end of the vertical support. The first support holds a number of receiving parts (54) slide fitting to fishing rod (L) and the second support holds a number of receiving parts (61) which holds the bottom end of the fishing rod.

ADVANTAGE - Provides portable and adjustable support for number of fishing rod in rough and uneven places.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/7

TITLE-TERMS: TOOL HOLD FISH ROD BASE ADJUST SCREW MAIN SCREW STRAIN
BELT WRAP
LEG

DERWENT-CLASS: P14

SECONDARY-ACC-NO:
Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1997-441538